

危険物新聞

1月号 第817号

発行所 公益財団法人大阪府危険物安全協会
〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目4番1号
O C A Tビル4階
TEL 06-7507-1169 FAX 06-7507-1470
URL : <https://www.piif-osaka-safety.jp>
Email : anzen@osaka-safety.or.jp

令和3年度重点項目 危険物の取扱いや危険物施設等におけるリスク内容等を把握し「安全確保」の自覚と確率により事故防止を図る

(1) 危険物や貯蔵、取扱場所でのリスクアセスメントの徹底により危険要因を把握する (2) 想定されるリスクに対する対策と体制を整備する
(3) 設備の設計思想や作業手順の背景にある原理原則を理解する (4) リスクに気づく感性のある人材を育成する (5) ヒヤリハット事例等の情報共有により企業全体で「安全確保」を確立する



年初のごあいさつ

公益財団法人大阪府危険物安全協会
理事長 吉田龍藏

あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

会員・事業所の皆様方には、平素から本会の運営及び事業推進に格別のご理解、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス禍の感染拡大は経済活動にも大きく影響を及ぼし、中・小企業の事業者の経営は売上減少に伴い、収益の悪化を招き、かつて私たちが経験したことのない未曾有の難局に直面いたしました。またコロナウィルスのまん延は相次ぐ非常事態宣言を発出させ、この影響により、社会にはさまざまな変化をもたらされました。自粛を余儀なくされ、特にそれまでの働き方が大きく変わり、テレワーク、モバイルワークなどの働き方が現れた一年でした。

会員、事業所の皆様にはこの影響を受け、自粛に伴う経営は大きな変革や変化を余儀なくされたことと思います。

当協会におきましても、危険物取扱者保安講習、危険物取扱者養成講習については、感染防止のための安全対策を十分に行うことにより、受講者の定員削減や手指の消毒、ソーシャルディスタンスに留意するなど細心の注意を払っての開催を強いられました。また危険物の安全、保安管理、啓発

を目的としました安全研修会を始めとする各種イベントが中止になりました。

令和4年にはコロナ禍の終息が訪れ、コロナ禍前の活気ある講習、イベントが再開されるものと願っております。

当協会におきまして、本年はこれまでの取り組みを更に充実・発展させて、より一層きめ細かな運営と会員の皆様に寄り添った講習や、安全大会の充実が心掛け邁進してまいります。

この新しい年が、会員、事業所の更なるご繁栄、ご発展の年となりますことを祈念いたしますとともに、会員事業所の皆様、関係各位の皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年初のご挨拶といたします。





大阪府知事
吉村洋文

年頭所感

新型コロナウイルスの感染者が府内で初めて確認されてから間もなく2年となります。当初は未知のウイルスへの対応に苦慮しましたが、府民のいのちとくらしを守ることを最優先に、府民・事業者の皆さまの多大なご協力をいただきながら、全力で感染防止対策に取り組んできました。ワクチン接種の促進等により感染は落ち着いた状況にあります。

ただ、新たな変異株であるオミクロン株が確認されており、感染拡大のリスクは常にあります。引き続き、緊張感を持ってコロナ対策にしっかりと取り組むとともに、府民の皆様には、基本的な感染防止対策の徹底にご理解・ご協力をお願いします。本年は2025年開催予定の大阪・関西万博をインパクトに、大阪経済を回復させ、再び成長軌道に乗せていく一年としていきます。

【新型コロナウイルス感染症関連対策】

府民のいのちと暮らしを守るため、コロナ対策に万全を期します。早期に抗体カクテル治療が受けられる体制を整備するなど重症化を防ぐ早期治療体制の拡充や、感染の急拡大にも対応できる必要病床数の確保など医療提供体制の充実を進めていきます。また、大阪経済の回復に向け、コロナで影響を受けた観光・文化・飲食などの事業者への支援や需要喚起策を実施するとともに、厳しい雇用情勢を踏まえ、再就職支援などの取組みを強化します。

【大阪・関西万博の成功に向けて】

コロナ対策を着実に進めながら、大阪・関西万博の開催まで3年余りとなった万博の成功に取り組むとともに、地元大阪としては、未来の医療や生活を感じる展示のため、参加型の「大阪パビリオン」の出展をめざします。また世界の課題解決に貢献するSDGs先進都市をめざします。万博とと

もに、さらなる大阪・関西の飛躍に向けて大阪・関西の飛躍のけん引役となるのが、I Rと国際金融都市の実現です。

【成長を支える都市インフラとまちづくり】

大阪の成長・発展には、その基盤となる都市インフラとまちづくりが不可欠です。関西国際空港の機能強化や、淀川左岸線延伸部及びなにわ筋線をはじめとする道路・鉄道ネットワークの整備を進めます。

【次世代を担う若者の育成】

人口減少・少子高齢化が進展する中で、大阪が将来にわたって活気にあふれ、元気なまちであり続ける土台をつくり、未来を切り拓いていくのは若い力です。学校教育においては、ICTを活用した質の向上を実現するとともに、新たに顕在化したヤングケアラーの課題にも取り組み、次世代を担う子どもたちを支え、力を伸ばしていきます。また、4月に開学する全国最大規模の公立総合大学である大阪公立大学では、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材の育成に取り組みます。

【終わりに】

これまで、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現をめざし、G20大阪サミットの開催やI Rの誘致、スタートアップ・エコシステムの推進などに全力を尽くしてきました

この未曾有の危機を乗り越え、大阪を再び成長のステージに乗せていくことが、私に課せられた最大の使命だと考えています。

本年も、府民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈りいたします。



新年を迎えて

大阪府下消防長会会長
大阪市消防局長
小西一功

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は消防行政の推進に格別の御理解、御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、まさに国難とも言える新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延し、社会経済や事業活動に大きな影響を及ぼしました。この苦難の中、会員事業所の皆様におかれましては、コロナ渦に対する感染防止対策を行いながら様々な工夫をされ、事業の継続に御尽力されていることとお察しいたします。

全国における危険物施設の事故に目を向けますと、施設数は減少傾向にあるものの、事故発生件数は、平成元年以降最も少なかった平成6年の287件から年々増加を続け、平成19年以降は500件を超えると高い水準で推移しております。

大阪府内では特筆すべき危険物施設の事故はありませんでしたが、昨年12月に大阪市此花区で発生しました大規模倉庫火災は社会的影響の大きな事故として記憶に新しいのではないのでしょうか。焼損面積が3万㎡を超える火災において、100名以上の従業員のが無事に避難されたことは防火・防災教育等の成果であり、日ごろからの災害

に対する備えがいかに重要であるかを改めて感じるところです。皆様におかれましても保安教育訓練や日常点検等の重要性を再認識していただき、引き続き「事故ゼロ」に向け一層の御尽力をお願いいたします。

大阪府下消防長会といたしましても、大阪府危険物安全協会及び会員事業所の皆様とともに、安全対策の充実に取組んで参ります。

さて、2025年には大阪市此花区夢洲において「大阪・関西万博」が開催されます。大阪での万博開催は実に55年ぶりであり、国内外から多くの来阪者が期待される中、今般、大阪府・市として万博に向け準備を進めているところです。今回の万博では、安全な都市「大阪」を国内外に発信できる絶好の機会とも捉えておりますので「大阪・関西万博」の成功に向けて皆様の御理解、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が災害の少ない平穏な年となりまた、大阪府危険物安全協会のますますの御発展と会員事業所の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

一般財団法人全国危険物安全協会
理事長 兵谷芳康

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益財団法人大阪府危険物安全協会及び会員の皆様におかれましては、日頃より危険物に関する安全思想の普及、危険物施設における安全対策の推進、危険物取扱者をはじめ危険物に係る方々に対する教育等にご尽力され、地域の安全・安心に多大な貢献をされておられますことに、あらためて深く敬意を表します。

去年は、我が国において夏のオリンピック・パラリンピックが、無観客などコロナ禍での厳しい制約のもと開催されるなど、このコロナ禍での一年を通して私たちのライフスタイルも大きく変わり、今ではWEB上での会議等が日常生活にも定着してきたのではないのでしょうか。

危険物を取り巻く環境も例外ではなく、例えばコロナ禍にあっても保安講習が安心して進められるよう、オンラインによる講習が消防庁のモデル事業として展開されるなど、新しい手法による取組みが導入されました。こうして社会や時代の要請にしっかりと対応することが、今後の危険物関連事業の発展や事故防止に求められていると感じた次第です。

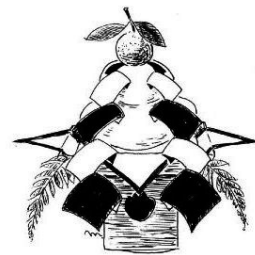
当協会としても、YouTubeを危険物事故防止の情報発信の場として活用すべく「全危協チャンネル」

」を開設し、動画等の配信を始めました。

また、消防庁のオンラインによる保安講習モデル事業が令和3年度で終了するため、当協会において令和4年度以降の実施に向けて関係機関と調整し、検討を進めています。さらに、地下・移動タンク等の定期点検技術者講習についても、従来の対面式からオンラインへ移行できるよう体制を構築しているところです。

今後も、当協会としては関係機関及び各都道府県危険物安全協会連合会の皆様と緊密な連携をとりながら、危険物に関する安全思想の普及・啓発、危険物取扱者の法定講習や各消防機関への支援等を通じて危険物に係る安全の確保を図ってまいります。

結びに、公益財団法人大阪府危険物安全協会が吉田理事長を中心としてますますご発展されますこと、また、会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



防爆冷温機器の Daido



防爆スポットクーラー



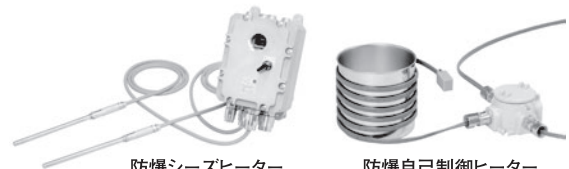
防爆冷凍冷蔵庫
DGFシリーズ(150ℓ～)

◆防爆スポットクーラー◆

第1類、第2類危険箇所での使用が可能なスポットクーラーです。夏季の危険場所での熱中症対策や高温の労働環境改善に。

◆防爆冷凍冷蔵庫◆

危険物倉庫内の第4類危険物の低温保管、また反応活性を抑え冷暗保管が必要な引火性試薬の保管に施錠機能付防爆冷蔵庫。



防爆シーズヒーター

防爆自己制御ヒーター

- 危険場所での凍結防止、反応容器の熱源に防爆シーズヒーター。
- 低温で固化する引火性薬品の安全な融解や引火性のある塗料・接着剤の粘度安定化に防爆自己制御ヒーター。

防爆電気機器を安全に設置、運用、保守頂くために、(社)日本電気制御機器工業会が推奨するSBA-Ex(防爆電気機器安全資格)等の防爆専門知識を保有・活用されることをお勧めします。

株式会社 大同工業所

大阪府東大阪市楠根1丁目6番45号
TEL 06-6746-7141 FAX 06-6746-7195
http://www.daido-ind.co.jp



大阪の元祖!ものづくり企業

**東日本大震災における
福島第一原発事故対応を顧みて⑬
一見えない敵との闘い**

(一財)消防防災科学センター 参与
元東京消防庁警防部長
Safety Life Creator
佐藤 康雄

あなど へいたん
侮れない兵站業務

被災している派遣先へ大部隊を送るにあたり、送り出す部隊の編成も大変ですが、部隊活動の要となる食糧、燃料等の調達や補給、いわゆる兵站業務はこれに輪をかけて大変でした。

東北地方に消防部隊を派遣するにあたり、途中のガソリンスタンドも停電等で給油ができない状況でした。当時、国から配備された小型タンクローリー車もありましたが、路上で消防車両に給油することは安全上許されないのではということになり、各部隊は停電しているガソリンスタンドに寄って、手回しポンプで給油しながら被災地に向かうという状況でした。総監訓示をいただき整然と出場した部隊も、被災地に全部隊が到着するまでには相当に時間を要し、到着はバラバラにならざるを得ませんでした。また、派遣当初は派遣部隊に持たせる食料等の確保にも困難を伴いました。食料を調達する経理係も随行して資金は持参したのですが、出場途上のパーキングや被災地域で大部隊の食糧を買うことは難しく、消防が買い占めた等の状況を起こしてはならないと購入もためられました。やはり、災害時の食料等の資材は現物で用意しておかないと役に立たないと痛感しました。福島第一原子力発電所の注水作業に行った第一次派遣隊員は、数少ないおにぎりやバナナ程度の軽食で過酷な災害対応にあたってもらい、指揮者としては心苦しく感じたものです。

これ以降の兵站業務は、総務や経理等が中心となって緻密な調達・配布計画を作って支えてもらいました。東京も震災で混乱しており調達には大分苦労していました。災害活動というと、華々し

い活動部隊にばかり目がいきますが、その裏方となる地道な作業を行う組織、部隊を平素から強化しておくことが大切です。太平洋戦争でも、日本は兵站分野の脆弱さが敗戦につながりました。新型コロナウイルス禍では、マスクをはじめ中国からの各種サプライが途絶して難儀をしました。今後の大規模災害対応には組織整備も重要ですが、組織を活かす兵站部門の強化と訓練という視点も欠かせない課題です。

日本も災害が多発し、ボランティア活動も活発になってきました。参加する方々も食料等の持参が当たり前になり、意識の高さに嬉しく思います。

独自の作戦構築

3月15日になると2号機の燃料棒が露出していることが報道されていました。ただ、詳しい情報はほとんど発表されていませんでした。東京消防庁にも詳細情報が国から入ってこない混乱した状況でしたので、マスコミの情報や、海外の情報をインターネットや知人を通じて集めていました。

冷却水の水位は次第に下がり、3月16日には燃料棒の冷却が急務であるとの報道がなされていました。

東京消防庁では、3月12日にスーパーポンパー貸出要請の取り消しを受けた頃から、警防部内の作戦担当を中心として独自に注水の作戦を検討していました。原子力災害の対応は国の責任であっても、注水が必要ということになれば、やはり東京消防庁が出ていかざるを得ない状況になることを予測していました。

東京消防庁では、かねてから都内の病院や大学の研究所等の、放射線施設での事故や爆破テロなどに備え、放射線災害に対する消防活動の原則を作っていました。内容は、被ばく線量は普通の時には30ミリシーベルトで、人命を救助するような場合には100ミリシーベルトまでと定められていました。ただし、100ミリシーベルトに達した時には、生涯にわたってその職員は放射線災害に従事させないという基準です。(次号に続く)



設計 製作 販売

タンクトレーラー・タンクローリー・タンクコンテナ・ポータブルタンク

特殊液体輸送の信頼できるパートナー

TONAN 東南興産株式会社

本社 〒552-0021 大阪市港区築港4丁目1-1 辰巳商会ビル7F TEL 06-6576-1901 FAX 06-6576-1950
特装部 〒554-0052 大阪市此花区常吉2丁目10-39 TEL 06-6463-0005 FAX 06-6466-1316
<http://www.tonan-kosan.co.jp>

お酒とアルコール(第5回)

—酒造りの文化と科学から I—

一般社団法人 近畿化学協会
化学技術アドバイザー 田村 敏雄

日本が国際的にも強い競争力のある分野として、医学生理のノーベル賞受賞につながる「微生物関連分野」が挙げられます。世界的に人気が高まる「日本酒（清酒）」の伝統の技法や研究が、その原点にあります。今回は、世界のお酒とその造りの科学を、生活や文化と学術の歴史を含めて寸描します。

1. お酒の社会学

1-1 自然界や古代に始まるお酒

酒は先史の時代から存在しますが、野生猿が木の洞などでため込んだ果実の自然発酵に由来する「猿酒」、日本古代の弥生文化や世界のアフリカや南米などの「口噛みの酒」が知られます。後者はヒトが米を甘くなるまで口の中で噛み続け、唾液の酵素を利用して糖化し、これを外に溜めてアルコールに発酵させたお酒です。

1-2 大戦後の高度成長の世相から

筆者が子供のころ、正月を迎える恒例の家庭用「甘酒」造り。米こうじと米や酒粕を原料とした糖化だけで造るお酒。アルコール濃度がフリーか、度数1%未満の私製のドリンク。いまもスーパーの棚に陳列されています。終戦から約80年、日本酒の盛衰（第4回掲載）を超えて、いま若者

や女性にも「洋酒文化」が隆盛です。明治期に横浜で企業化された和製ビールを中心に、ウイスキーやワインなど外来酒が社会を席卷します。

海外出張のお土産の定番は、欧米から帰国直前の空港免税店で洋物ウイスキー「ジョニ黒・ジョニ赤」「シーバス」や「洋モク」（西洋たばこ）でした。21世紀に入って、いまはもうその光景は「ノスタルジー」の世界、全くの「廃語」になりました。

1-3 宗教や民族との関わり(社会科学でみる)

お酒（アルコール）消費量についての国際格付け統計があります。【表1】参照

①酒類の消費傾向は、その国(地域)の宗教性(教義・倫理道徳的な側面)や生物学的な民族性(アルコール分解酵素を持たない人口割合:モンゴロイド系やコーカサイド系など)からも議論されています。

②一般的に禁酒を課している宗教は、仏教、ヒンズー教、イスラム教やキリスト教の一派であるモルモン教で、生物学的に「アルデヒド脱水素酵素存在型」(第1回掲載)の人々が多い社会であり、「体質的に酒に強い」ことが飲酒に対する宗教的・社会的禁止を生み出す素地」とも考えられています。

民族移動や移民などの歴史により、宗教や人種の融合・社会での多義化などから区分は難しいのですが、データ【表1】や研究報文から大まかに描写します。

都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査

〈平成16年4月1日法改正対応〉

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-24-12 TEL.0798-65-5100 (代表)

GIKEN

【表1】世界のアルコール消費量（ランキング・筆者編集）

国・地域 消費量分類	飲酒量 (1人あたり年間平均)
世界の平均消費量	約6 ^{リットル}
★日本人の平均消費量 (世界60~70位,中程度)	中国、イタリア同等量 約7 ^{リットル}
★特別の多消費国 (東欧など)	ロシア・ウクライナ オーストリア・ポーランド <13~15 ^{リットル} >
★多消費国 (西欧,主要E U,北米,豪)	英・仏・西・韓 <11~12 ^{リットル} > 米・加・豪・南アフリカ <9~10 ^{リットル} >
★少消費国A (北・中央アフリカ,南米) (バラモン、モルモン教)	インド・パキスタン ケニアなど <~4 ^{リットル} >
★少消費国B (飲酒忌避不許容) (イスラム系の国)	サウジアラビア・中東・ インドネシア・シンガポール タイ・マレーシア <~1 ^{リットル} >

(注) 約190ヶ国、3年間平均
世界保健機関(WHO),国際統計格付けセンター

①イスラム教国：中東、東南アジア、北・中アフリカでは教義で飲酒が禁止され、消費量は極端に低い。しかし現状では多義的に解釈され、インドネシアやマレーシアなどで筆者（外国人）の飲酒に厳しい制約はなく「寛容」の経験でした。

②キリスト教国：葡萄酒は聖餐の「神の血」とされ教会や修道院でも生産されていますが、アルコール消費が推奨されているわけではないようです。

欧州、とりわけロシアや東欧の飲酒量は極めて多く、ポーランドの「Spirytus」はアルコール最高度数（96度,じゃがいも系ウォッカ）です。イタリアは多飲国ではありませんが、なぜか高度数のお酒が多種類ありました。

③仏教国：仏教の戒律では、五戒に「不飲酒戒」

もあって禁酒のはずです。しかし、「酒は百薬の長」ともいわれ、酒を「般若湯」（僧侶の隠語）と言うのは僧侶の智慧でしょうか、日本では禁酒はほとんど実行されていません。

④神道：清酒は「神の作りし神聖なもの」として神事（直会なおらい）でも必須です。「日本三大酒神神社」として、日本第一酒造神の松尾大社（京都）、梅宮神社（京都）、酒林（杉球）発祥の大神神社（奈良、三輪山）などが知られます。

2. 醸造・発酵学（自然科学でみる）

日本酒は伝統的な技法の歴史（第4回）がありますが、1800年初頭に「ビール」がオランダ商館長ドゥーフ氏により長崎「出島」で醸造されました。後に幕末の蘭学者・川本幸民が「江戸」に移り、日本人最初のビール醸造を行った記録があります。ビールの本格的な企業化は横浜（キリンビールの前身）で、大阪「渋谷ビール」（1872）、北海道開拓地での「札幌麦酒」（サッポロビール前身）、「日本麦酒醸造」（エビスビール前身）、「大阪麦酒」（アサヒビール前身）などの設立につながります。戦前に撤退した「サントリービール」が1963年に再参入し、現在は各地で「クラフトビール」（地ビール）が愛好される時代になりました。

（次号に続く）

余談ですが、NHK朝ドラ「マッサン」（2015）のモデルとなった竹鶴（1979没）は広島県竹原の造り酒屋出身、就職後スコットランドに渡り、スコッチウイスキーの製造法を学び、ニッカやサントリーの始祖となる生涯、感動的な物語として記憶に残ります。

次号では近代醸造学の黎明、独立法人酒類総合研究所(旧国立醸造研究所)等について述べていきます。

先進物流で顧客ニーズに応える。



1998年 ISO9001 認証取得
2008年 ISO14001 認証取得
2008年 CDI-T 初回審査(2015年更新:97%適合)

化学品の海上輸送から
陸上での保管・輸送まで一貫サポート

- ケミカルタンク
- ケミカルタンカー
- タンクローリー
- 危険物倉庫

AST Inc.
アスト株式会社

本社 / TEL 06-6538-2781
東京支店 / TEL 03-3664-9440

 <http://www.ast-inc.jp/>

爺(じじ)放談⑤

タロ・ジロの日

ジャーナリスト 藤井 英一

1月14日、奇跡の生存確認

1月14日は「タロ・ジロの日（愛と希望と勇気の日）」。南極オングル島の昭和基地に1年近く置き去りになったカラフト犬のうち、タロとジロの生存が1959年のこの日確認されたことに、ちなむ。

56年11月、第一次南極観測隊とともに宗谷で出航。翌年1月から南極犬ぞり隊として物資輸送の大役を果たしていた15頭。しかし58年初め、交代の第二次観測隊を乗せた宗谷が想定外の暴風雪と氷の壁に立ち往生。辛うじて、11人の第一次越冬隊員を軽飛行機で宗谷に収容、最終的には第二次観測隊そのものの断念に追い込まれてしまった。

15頭は基地そばの雪原に、首輪と鎖で固定され、数日分の食料がそれぞれの周囲に置かれていた。ブリザードが収まり次第、第二次越冬隊を基地入りさせることを前提にした対応だった。しかし、極地の厳しい自然はそんな目算を吹き飛ばしてしまった。鎖につながれたカラフト犬の生存は絶望視され、帰国した観測隊に市民から批判が浴びせられた。

昭和基地がマイホーム

タロとジロの横顔紹介。北海道で55年10月誕生。サブを含む牡3兄弟。責任感あるタロ。前足のお手が得意のジロ。サブは観測隊に参加していない。南極到達時は1歳で青年期。犬ぞり隊最若手の育ち盛りだった。出発前、第一次と第三次観測隊員の北村泰一さんが、北海道でカラフト犬の訓練を実施。選ばれた22頭が宗谷に乗った。タロとジロにとって昭和基地一帯は、マイホームであり汗をかく仕事場だった。

昨年1月放送のNHK「偉人たちの健康診断－南極タロジロ物語」は、昭和基地入りした第三次観測隊がタロとジロの生存を確認した際の記録映像を紹介していた。58年1月14日、宗谷からヘリコプターで飛来した隊員が、動く犬を確認したが、固体判別

ができない。無線を聞いた北村さんが別便でかけつけ、タロとジロであることを確認した。決め手は名前を呼びかけた時の反応と、ジロのお手のしぐさ。首輪抜けが得意だった2頭。勝手知る基地周辺を動き回り、懸命に命をつないでいた。7頭が首輪につながれたまま、亡くなっていた。

カラフト犬讃える映画、歌、像…

タロとジロは第三次越冬隊とそのまま基地にとどまり活動を続けた。ジロは第四次越冬中の60年7月9日に基地で病死した。5歳だった。タロは翌61年5月14日、任務を終えた第四越冬隊とともに宗谷で無事帰国した。4年半ぶりの日本だった。札幌市内の北海道大植物園で飼育され、70年8月11日、15歳の天寿を全うした。

タロとジロ生存の報は、市民を歓喜させた。映画「南極物語」やタロとジロの歌が制作されたのをはじめ、各地にカラフト犬を慰霊する銅像やタロとジロの像が建立されている。

タロとジロは別々に剥製（はくせい）展示されているが、98年9月に稚内市青少年科学館で開かれた「タロ・ジロ里帰り特別展」で初めて2体を並べた展示が実現した。

2007年の昭和基地開設50周年には造幣局がタロとジロと宗谷をあしらった500円記念硬貨を発行した。

愛と希望と勇気の新年に！

タロとジロが南極へ向かった56年。7月に出された経済白書に「もはや“戦後”ではない」と宣言されていた。敗戦時の食糧難など混乱続きの市民生活が、幾分落ち着きを取り戻したころ。日本経済をその後の高度成長へ導く基礎固めの時期に入っていたのかもしれない。

南極観測隊派遣は、日本にとって世界で生き抜くために不可欠な国際貢献の一つであった。そんな重要ミッションの中で演じられたカラフト犬の奮闘。タロとジロへの拍手は、犬たちのけなげさに報いずらに死なせてしまった私たち人間の悔恨と、表裏をなす。

今年こそ愛と希望と勇気が降り注ぐ年になりますように――。

埋設後 40年
以上経過した
地下タンクには…

電気防食 または
高精度液面計



高精度液面計 Site Sentinel

地下タンクの漏えい検査・老朽化対策は 日本スタンドサービスへ。

- 長年にわたる経験と確かな技術で、安全かつ正確な検査を実施しています。

ホテル・病院等の地下タンク

給油所や工場等の地下タンク

油槽所や給油所の地下埋設配管

移動貯蔵タンク(タンクローリー)

● 無料お見積・ご相談はお気軽に

TEL 072-968-2211

info@nssk.co.jp
Web https://nssk.co.jp

大阪本社 〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-1
TEL.072-968-2211 FAX.072-968-3900

東京営業所 〒152-0003 東京都目黒区旗文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789 FAX.03-5721-4787

日本スタンドサービス株式会社